

特集 1

編集委員 1 年生による オリキャンレポート



この春、飛翔編集委員会に、かつてないほど大勢の 1 年生が入りました。

「これでは、せっかく入ってくれたのに活躍できずに終わる人が出るかもしれない。」

「ぜひみんなに誌面に登場してほしい！」

そう思った編集長が 1 年生の委員に出した指令、

それは「オリキャンを振り返って、自由形式でまとめること」。

入学してすぐにオリキャンの班が結成され、様々な準備を経て当日を迎えます。

そして、楽しい企画が目白押しの 2 日間を過ごします。

1 年生にとって、大学生活のスタートを彩るすばらしい思い出になったことでしょう。

書いてくれた文章を読んでいると、そのことがはっきりとわかります。

さあ、オリキャンの感動を、あなたにも。

《2009年度オリエンテーションキャンプ（オリキャン）》

実施日：4月18日（土）～19日（日）

会場：山口県ふれあいパーク（山口県岩国市）

参加者：1年生128名・2年生88名・教職員26名

●事前準備

班ごとに、それぞれの班のTシャツ、班グッズ、フラカードを作りました。1週間と少しの期間で、すべて1年生だけの力で完成させなくてはなりません。また、これらはオリキャンの昼企画まで他の班には秘密です。

全

く面識のない8人が集まり、数日でこんなに仲良くなれたことに驚いています。その始まりが事前準備でした。

班員が決まり誰も分らないので、初めはみんな消極的でした。

しかし、デザインを決め、買い出しをし、家に帰ったときにはだいぶ緊張がとけていました。

本当に仲良くなれたのはこれからです。

私たちの班は無駄なところに時間をかけすぎました。

それは、フェルトを全て手縫いしたことです。今となっては自慢です。

そのためとても時間がかかり、なんと徹夜することになってしまいました。

誰もが予想もしていなかった出来事です。

しかし、そのおかげでみんなという時間が長くなりました。

高校時代の話、第一印象の話、趣味の話……。いろいろと話が尽きませんでした。

その翌日にはみんなが気を遣うことなく話せていたわけではありませんが、とても仲良くなっていました。

それが数日続いていました。

そのためTシャツができる頃にはみんなが気を遣うことなく話せていました。

お弁当班活はオリキャン前だったので言うまでもなく仲良しでした。

他の班もこの行事で仲良くなったんだと思います。

この行事を企画した先輩方に感謝したいです。

〔倉岡 優（クラ）〕

「大学に入ってからで、こぎゃんことせなんとか思わなかった。」

素直にそう思った日からすでに1カ月以上が経った。他の班と合班をしたり、Tシャツを作ったり、弁当やケーキを作ったりetc……。こ

【オリキャン基本用語辞典】

・班T・Tシャツ

……班員がオリキャン当日に着る、おそろいのTシャツのこと。すべて手作り！また、班員が持つ班グッズや班のプラカードも併せて準備する。

・班活

……班のメンバーで集まって行う活動の総称。

・合班

……2つの班が合同で行う班活。人数が多いので、部屋がだいぶ狭く感じる。

・お弁当班活

……オリキャン当日の昼食を作る班活。前日（金曜日）の夜に行われ、Tシャツや班グッズ、プラカードを2年生に披露する機会でもある。

・裏ガイ

……先輩たちが1年生に授業のマル秘情報を教えてくれた裏のガイダンス。

・フェロー

……班のリーダーのこと。

・20（にーぜろ）

……平成20年度入学生（2年次生）のこと。

・21（にーいち）

……平成21年度入学生（1年次生）のこと。

のことがもはや当たり前となっていく今日この頃、慣れの怖さを実感している所だ（笑）。

裏ガイの後に発表された班。見ず知らずの班員。その中には世界3大美人の1人がいるという大波乱。フェローも某国民的アニメの主人公と被っている。さらには某通信教材のサブキャラに大統領夫人。創世記に登場する神に創られし者に、鳥のさえずりの響く城に住む媛つ子ジブラー。鉄砲とともにやって来たであろう種子島乙女。そして、18歳とは思えない人物。こんな素敵なキャラに囲まれ、自分の立ち位置も分からず、とりあえず自己紹介から始まった物語。

班活をしながら徐々にお互いを知り始める。

Tシャツ作りでは、前述のフェローを模したTシャツを製作。大統領夫人宅（通称ホワイトハウス）に泊まり込み、役割分担して作業を進めていく。そのうち芽生え始めた共通の目標“絶対優勝”。出会って2週間も経たないのに、一致団結して作業できることに驚き、一つの目標に向かって一所懸命に取り組めることの尊さに気付き始めた。

20の先輩方には、オリキャン前日に弁当を披露するとともにTシャツを紹介。その時の先輩方の反応が怖かったが、とても喜んでくださった21もとても嬉しかったのをよく覚えている。オリキャンでは優勝はおるか入賞すらできな

かったが、偶然出会った8人で過ごした2週間、どの班でも得られない、確かにその8人だけの貴重な経験であり、素晴らしい思い出であったことは言うまでもない。

「この大学、いや、この学部でしかできなかったことばやってきたばい。」

素直に胸を張ってそう言えるような学生生活を送りたい。

最後に、そう思わせてくれる機会を与えてくださった20の皆さん、他の21の皆、本当にありがとう。これからもよろしく。

「林田 啓誉（はーさん）」

追

い立てられるように進めなければならぬはずのTシャツ作り&お弁当計画。しかし私たち11班はかなりのマイペース進行だったのではないだろうか。Tシャツに関しては本当に焦りました。食堂でさんざん話合っても意見がうまくまとまらず、結局実際に作ったのは、初期の案（世界地図とか国旗で文字を書くとか……）とは全く異なり、Tシャツの常識を覆す、羽織るタイプのもの（新撰組のハッピ風）になりました。班グッズとして揃えた人数分の刀と鉢巻は自宅生のご両親に百均で調達してきてもらいました。私の親は百均で刀と鉢巻を大量にレジに持って行ったところ、店員に「何

に使うんですか？」と聞かれたらしいです。だから「大学生が扮装するんです。」と言っておいたらいいです。そんな風に周囲の協力も得ながら進めていった班Tシャツ作りですが、すべてが完成したのはオリキャン当日の朝だったそうです（男子談）。班の旗なんてお弁当班活をしたフェローの家であり合わせの棒で作ったというから驚きです。お弁当に関してもTシャツと同じく、最初はTシャツのイメージに合ったお弁当（武士っぽい感じ？）を作ろうとしていましたが、お弁当班活当日、ゆめタウン学園店でカートを押しながらメニューを考え、集団でフロアを行ったり来たりして、ポテトサラダとハンバーグ、アスパラベーコンに卵焼きと作れるおかずを合わせたら、思いっきり洋風なお弁当になりました。私はハンバーグ担当でしたが、帰宅時間の関係でせっかく頑張ったハンバーグを焼く前に帰路につきました。

オリキャン当日は、Tシャツもお弁当も好評で、月並みな言葉ですが、頑張った良かったと思いました。大学入学後こんなに早く最高の思い出作りが出来るとは思ってもみなかったもので、嬉しかったです。全体的に行き当たりばったりな感じの事前準備でしたが、終わりよければすべてよし、ということで良い思い出です♪

「平野 詩歩（りんりん）」

オリキャン1週間前、土日にもかかわらず、
出会って数日しかたないメンバーで班

員の家に集まりTシャツのデザインを考えた。

私たち5班はフェローさんの好きなキャラクターにしよう!ということで、ヨーダを使ったデザインにすることにしました。そして、なにかほかの班とは違った工夫がしたいなあ、と考えた結果考え付いたのがつなぎ絵だ。班員全員がそろったら背中に巨

大図ができるのだ。班員の絵が得意な子に巨大図のデザインを考えてもらい、フェルトで絵を作ることにした。だが、最初思っていたよりもこのデザインは時間がかかる。位置がずれてしまうとTシャツをきたとき絵がそろわなくなってしまう。でもみんな手をぬくことなく、意地でも凝ってオリキャ



ンまで毎日、できるときはボンドを片手にフェルトをくつつけた。私はみんなの集中力と根気強さに本当にびっくりした。そのときはもう、Tシャツで優勝することよりもTシャツを完成させて、つなぎ絵を成功させることが目標でもあった。完成したあと、5班の20の先輩に見せたときにとっても喜んでくれただけでも本当に作ってよかったーと嬉しかったのに、Tシャツ3位にもなれて幸せで感動した! 本当に、楽しいのはオリキャン当日だけではない。オリキャン前の1週間があつてこそそのオリキャンなのだ。

「村上 友里(ローラ)」

●バス企画

バスで移動する間、班対抗で色々なクイズをしました。ここからすでに点数が班ごとに記録されており、大いに盛り上がっていました。

バス企画では広大に関するクイズやフェローさんに関するクイズ、曲当てクイズなどがありました。私の13班はみーしゃさんの5班、さーのんさんの16班と一緒にバスで移動し、得点を競い合いました。

広大に関するクイズでは、西2食堂のチキンカツミートソースの値段などが問題にでまし

た。食べたことがあったのにいざとなると思い出せなくて、私はチームに貢献できませんでした。全体的にかなり細かい内容だったので広大クイズで13班は結構間違えてしまいました。

次のフェローさんに関するクイズではえこーさん、みーしゃさん、さーのんさんに関する問題に答えました。せめて13班フェローのえこーさんの問題は全問正解しよう!と頑張ったのですが残念ながら無理でした。えこーさんの受験時のお話やみーしゃさんのもう一つのあだ名のお話、さーのんさんのあだ名の由来など、このクイズでは各フェローさんのことをいろいろ知ることができておもしろかったです♪

最後の曲当てではミックスされた曲名を当てていったのですがこれが難しかったです。印象的なフレーズが耳につくとそっちにばかり気をとられてしまいました。でも班の20さんと21みんなが協力することで結構答えることができました! 最終的なバス企画の成績は13班は1番になれませんでした。みんな協力して答えをだしたり和気あいあいとした移動時間を過ごすことができました。オリキャンはバスの時間まで充実していても楽しかったです! オリキャンの企画・運営をしてくださった方々、本当にありがとうございました。

「進藤 由佳子(ゆん)」

● 昼企画

班のTシャツやグッズを披露したあと、班対抗の色々なゲームをしました。

朝

、自宅が目が覚めたら、バスが出る30前でした。信じられない思いで携帯を見ると着信26件。フェローさんと連絡を取り、遅刻したもう1人と在来線で山口まで行きました。迷惑をおかけした皆さん、ほんとすいませんでした。何はともあれ山口に着いてみると尋常でない暑さでした。腕がそのときの日焼けで今でも(5月20日現在)2色に分かれています。ビニールシートの上に置いておいたペットボトルのお茶が日差して「あつたか〜」なっていました。がしかし、昼企画はそれにも負けない熱い企画でした。まずは班T紹介。どの班もTシャツのデザインや発表の仕方に工夫が溢れんばかりで、班ごとの頑張りをお知らせする仕上がりでした。そして借り者リレー。男女のペア+借り者1人で思いつきリレー。借り者になった先生が何人か足を痛められたそうです。総科ジャンプはハードでした。引っかかつてはいけないという緊張感から余計に足が疲れ、最後の方はゼイゼイ息をしながら跳んでいました。跳びながら、高校の部活ってこんなだったなあ、と思い出して懐かしい気持ちになりました。続いて、胸キュンレース。見ている方は楽しく、走る方は必死の、素敵なレースでした。勝負の分かれ目は前半です。上手く縄跳びをして、浮き輪をくぐらないと、なかなか追いつくのは困難なようでした。結構みんな本気で走り、レース自体も、非常に白熱したものとなりました。残念ながら、ビリになった2人には罰ゲームの胸キュンプラン。男女2人の仲が深まったかどうかはともかく、見ていてとても面白い企画でした。

「久住 忠彦(ただち)」



4

月18日(土)、4月とは思えないほどの暑さと快晴の中、午後1時30分、オリキャンの昼企画がスタート!

まずは、このオリキャンのために各班で作ったオリジナルの班Tシャツの発表。班Tシャツは、私たち21生が、広島大学の総合科学部に入学してから、初めて班で協力して作り上げた作品で、どの班も個性豊かでした。オリキャンの最後に順位発表があるということで、どの班も気合の入った作品と、印象に残る班Tシャツ発表となりました。

続く昼企画は、班対抗の借り者競争。男女ペアになり、「〇〇県出身の人」、「奥二重の人」などのお題に当てはまる人を見つけ出して、順位を競い合いました。中には、「靴下を履いていない人」というお題を引いてしまい、右往左往しているペアがあらこちらに……。

続く企画は班対抗! 絵しりとり長縄!! 絵しりとりをし、絵を描き終わった人から長縄を跳び続ける企画でした。言葉にすると簡単なのに、最初から跳び続ける人は最後にはバテバテ、前の人が描いた絵が理解できない、などなど実際はそううまくはいきません。答え合わせをしてみると、無理やり続けた絵しりとり思わず笑いが起こる一幕も。ちなみに私の班は8枚中4枚しか、絵しりとりが成立していません

でした。

昼企画の最後を飾るのは、胸キュンレース！みんなのボルテージは最高潮!! 胸キュンレースに参加する男女ペアを待ち受けるのは、2人縄跳び、ジエスチャージゲーム、ぐるぐるバット、など。もちろんレース中は、2人の手は固く結ばれています。さらに、最下位のペアには、見ているこちらまで赤面してしまうような、胸キュンなシチュエーションを演じてもらいます。ベスト胸キュン賞を獲得したのは、どこか遠くへ行ってしまった彼氏を健気に待ち続ける彼女と、その彼女にひそかに想いを寄せる男性を演じた2人に決定しました。



楽しかったのはもちろん、班の結束も強まった昼企画でした。

「小出 有華（とこちゃん）」

昼

企画では、先輩方が様々なゲームを企画してくれていた。それらは『借り者リレー』や『胸キュンレース』など、かなり盛り上がるゲームばかりだった☆

その中でも、私が一番印象に残っているのが『大縄絵しりとり』だ。それはしりとりを絵で描いて、しりとりを完成させた人から大縄の中に入っていくというルールである。

私はこのゲームで前代未聞の凡ミスをおかしてしまった……。

なんと!! 焦りのあまり「麒麟」の絵を描いてしまったのだ!!

ここで一応確認しておくが、しりとりは「ん」で終わる言葉を選んだ時点で負けが決定する。私ももちろんそれは分かっていた。しかしまさかの『麒麟』……。

絵が下手で伝わらなかったとか、大縄で引つかかってしまったとかいうミスならまだしも、しりとりで「ん」だなんて……。気付いたときにはもう手遅れで、自分がバカだということを再確認した瞬間だった（笑）。

そのようなハプニングもあったが、いろいろ

な企画をしていくうちに班の団結力は確実に強くなっていた。ほかの班の人たちと話す機会も増え、たくさんの人と友達になることができた!! それが私にとって、今回のオリキャンでの一番の収穫だと思っている。

これからもたくさんの方の行事があるが、このオリキャンでできた絆をむだにせず、総代を中心にみんなで助け合いながら、楽しい思い出を残していきたいと思う☆

「山村 彩（さむ）」

●カレー作り

班ごとに、1年生を中心に協力してカレーを作りました。それぞれの班で隠し味を用意するなどし、オリジナルの味になりました。

昼

企画が終わって、夕方から班ごとに分かれてカレー作りをしました。

坂を登るのがしんどかったけど、調理場について、料理を始めました。

最初に人参、玉ねぎ、じゃがいもを切って、材料を鍋に入れて、先生が起こしてくれた火にかけて、ここまでではよかったんですが、水を入れすぎてしまいました。

煮込んで水分を飛ばそうとしましたが、結局そのままスープカレーになりました。

ちなみに、班ごとに隠し味を用意するんですが、3班の隠し味はりんごでした。

器に盛って、皆で一緒に食べました。

スープカレーになったので、味が薄いかと思ったら、結構おいしかったです。

分量が多かったので、食べきるのが大変でした。班Tシャツを2日で完成させた3班は、皆手際がよくてカレーを作るのも、片付けるのも、早かったです。

「大江 輝幸（オーエン）」

ど

うも、ダンディーこと藤本です。21によるオリキャンレポートということで、カレー作り担当になりました。オリキャンってこの原稿を書いている現在（5月19日）からちょうど1ヶ月前になるんですね。この1ヶ月密度の濃い時間を過ごしていたせいか記憶が非常にあいまいです。事実と異なることが書いてあっても許してやってください。

で、カレー作りに関してですが、自分たち21が着いた時にはもうすでに準備の大半が終わってたんですよ。火も起こしてあったし、ご飯の準備も万端でした。20の先輩方、本当にお疲れ様でした。

そこで、材料を切ってカレーの準備をしたんですが、実は自分はそこに参加していないんです。恥ずかしながら私、お弁当班活の時に自分の指を包丁でザツクリやってしましまして、水仕事ができなかったんです。このままではいけない子になってしまうと焦り、火を使う仕事を引き受けたのですが、過酷すぎて正直後悔しました。

熱すぎ、夏場の台所なんか目じゃないぜって感じでした。

汗でジーンパンは足に張り付き、さらにはその下にはいているものも汗でしっとりしてくるのを感じるほどでした。

そして、出来上がったカレーは見事なものでした。適度なとろみ、真っ白なご飯、そしてお茶。その3点が、食卓を彩り（茶色系の色ばかりだけど）私たちの舌を楽しませてくれたのでした。

その後は膨れ上がった腹を落ち着かせる間もなく片付けに入ったのですが、水仕事のできない自分はそれはそれは肩身の狭い思いをしたのでした。

そうこうするうちに、夜企画の時間となり21は後片付けを20の先輩方に任せ、後ろ髪を引かれる思いでその場を後にしたのでした。

以上ダンディーによる、オリキャンレポート



「カレー作り編」でしたが、いかがでしたでしょうか？ 正直この飛翔の企画、文才のない自分にとつては非常にハードルが高いものでした。つたない文章でしたしょうが、最後まで読んでくださった皆様に感謝を。

「藤本 周策（ダンディー）」

オ リキャンの雰囲気にも慣れてきて、存分に楽しむことの出来た昼企画のあと、い

よいよ晩御飯の支度の時間がやってきた。全ての班を2箇所の炊事場に分けてカレー作りが始まる。班員それぞれが具材を切ったり、大きな鍋で煮込んだりと、忙しく手を動かしながら協力し合っていた。私の班は実にスムーズに作業が進んでいった。始めてすぐに材料を切る組と、鍋の方にまわる組に分かれて着々と進めていく。具材を切っている間にもお互いに自炊についての話や、自分の好物についての会話に花が咲く。昼企画とはまた違った、班員との距離が縮まる時間。さっと全てを切り終え鍋の元へ持っていったあとは、お皿を並べたり、たくさん椅子を持ってきたり、お茶を沸かすなりして、手を休めることは全くなかった。次々と完成していく中でひたすら思っていたことは「とにかく鍋の近くは非常に暑い」ということ。汗がどんどん噴き出す。散ってくる炭で服が焼け

るか心配しつつ、完成を目指して動く。ご飯をよそって、良い匂いのたちこめるルーをかけると後はたらふく食べるのみだ。1つのテーブルを囲んで食べた晩御飯は非常に美味しいものだった。他の班の失敗したカレーの話の小耳にはさみつつ笑いの絶えない時間を送った。食べた後はいそいそと片付けを終え、うきうきしながら夜企画の会場へと向かうのだった。

「脇川 花緒里（わつきー）」



●夜企画

班を一度崩し、新たな班で陣取りをしました。そのあとに待っているのは、「楽しかったごと」ランキングでもトップに位置している、「総科ダンス」です。

オ リキャンの夜企画といえば、やっぱり総科ダンスです。男女で輪になって、音楽

が聞こえなくなるほど盛り上がりました！ みんなで踊るなんて幼稚園の時以来で、始めは恥ずかしかったけど、そんな関係なく総科全員が一つになった感じがして、とても印象に残る良い思い出になりました！ あんまり話したことのなかった人とも距離が縮まって、伝統にしていってほしい企画の一つです。もう一つの企画は、陣取りゲーム！ 久しぶりに全力疾走して足がつりそうになりながらも夢中で旗を取りにいきました！ 楽しい時間はあつという間で、でも中身の濃い企画でした！

「梅西 智美（めいめい）」

タ 飯を食べ終えた後の夜企画では、オリキャン班とは違ったメンバーで力を合

せてゲームを行った。始めはいつもと違ったグループに戸惑いと緊張を覚えたが、皆すぐに打

ち解けてゲームに取り組むことができた。私にとって、話したことがなかった人と新たに関われるチャンスが設けられていたことは、大きな意味を持っていた。「陣取りゲーム」では、チームワークが重要となり、戦略を立てる上で皆の新たな一面が見え、協力しあうことで友人も増えた。

その後行われた総科ダンスは、先輩方が振り付けを考えてくださり、以前にっただけ練習したものだった。最初は恥ずかしく感じたものの、最後の方になると終わってしまうのが残念で仕方なかった。総科ダンスが終わった後に照明が消され、グラウンドに寝転んで見た夜空は本当に美しかった。流れ星が2回ほど落ちた時には、誰からともなく歓声が上がった。あの光景は、私の中で忘れられないものの一つとなった。

この行事を企画・運営して下さった全ての方に感謝し、私たちが体験したような素晴らしい2日間を、来年の新入生にも味わってもらいたいと思う。そのためには、私達21全員が協力しあつて、団結を深めていきたい。

「木村 香名子（まりも）」

私

はオリキャン企画の中でも夜企画が一番印象に残っています。

夜企画ではまず陣取りをしました。陣取りは

今までの班ではなく、新しく作った12人ほどの班でまた新たな交流をすることができました。陣取りは走って相手の陣に立つ旗を取るというシンブルなゲームです。

私はオリキャン企画にこんなに走り回る企画があるとは知らなくて、運動好きな私にとっては嬉しい驚きでした。

20の先輩がルールを説明してくれてすぐはなかなか理解できず、ゲームでも何もせずになわってましたが、後半は班員みんなと作戦を練ってできたことで、みんなとの団結が深まりました。

陣取りのあとは総科ダンスでした。総科ダンスはオリキャンの前から先輩方に教わっていて、とても楽しみにしてた企画の一つでした。いざ始まるとみんな楽しみすぎて音楽と合ってなかったですが、それすら楽しかった気がします。

総科ダンスが終わるとふいに照明が消えて満点の星空を寝転がって見たときは鳥肌が立ちました。その場にいた全員が息を飲んだ星空はプラネタリウムのように一つ一つが綺麗で、しばらくの沈黙がその美しさを物語っているように思いました。

こんなにも素晴らしい企画を用意してくださった20の先輩方に本当に感謝したいです。

「新居田 香奈（イヴ）」

●朝企画

夜企画の班で、2年生になるときに選択するプログラムの説明を受けました。全体のガイダンスのあと、興味のあるプログラムのフィースを3ヶ所回り、詳しい話が聞けました。

オ

リキャンも2日目になり、まず朝企画が行われた。朝企画とは、私たちが2年生になると分かれるプログラムについて、先生によるクイズやプレゼンテーションを通して学ぼうといった企画である。

まず最初に行われたのは、各プログラムの先生が問題を出し、私たちが答えるというクイズゲームである。このクイズは実験や動作などでわかりやすく説明していただいだけ、とてもためになるクイズであった。

次に、各プログラムの説明があつた。時間の関係で各班3つまでしか回れなかったが、自分の行きたいと考えているプログラムの説明に最低1つは行けるので、とても自分たちにとってよいものとなった。ちなみに私は人間文化プログラム、自然環境科学プログラムとスポーツ科学プログラムに行った。どのプログラムもわかりやすく、丁寧に教えていただいけてもいい印象を持った。

この朝企画を通して、私たちは将来について考えさせられた。朝という時間帯で少し疲れている部分は見えたが、とても充実した企画だと思った。

「角 礼子（おたべ）」

オ リキャンも2日目。ふれあいパークの山を登りホールでの朝企画。それはプログラム別のガイダンスでした。

まず、最初のクイズ。手品や実験などを交えた面白いクイズ。僕らの班は……正解したのは半分もあったかな？って感じだったけど、全員で最後まで解答できました。

そして、研究内容の紹介。最初は生命科学プログラムでした。二者択一の問題で「脳のエネ



ルギー源はなに？」のような常識的なものから「教授はどれ？」みたいなそんなの知るかよ的なものまで様々でした。チヨコレートという景品もあり、楽しく生命科学プログラムについて知ることができました。

次に訪れたのはスポーツ科学プログラム。おもに反射の早さを測定しました。大きな機械で全身の反射の早さを測るものと落ちてくる棒をつかみ体の一部分の反射を測りました。正直、反射の早かった人が羨ましかったです。あと、バランスボードにも乗りました。

そして、最後は数理情報科学プログラム。ドラえもんの好きな先生のもとで、プログラム概要について学びました。その中で、特に印象的だったのがケムコを立ち上げた卒業生の話。ゲームのプログラムで年商5億円を稼ぐつわもの。数理情報科学ついていわれてもピンとこないけど、そんなことができるんだあって驚嘆しました。こんな感じで僕はオリキャン2日目の朝企画を過ごしました。以上でレポートを終わります。

「徳丸 雄一（とくちゃん）」

オ リエンテーションキャンプ2日目の朝企画として、プログラム別ガイダンスが行われた。私たちが所属する総合科学部では、2年次から10個のプログラムに分かれることに

なっている。入学してから1年間、自分がどのような分野に興味・関心があるのか、何を専門として学んでいきたいのかを考えることができるのが、総科の特徴である。私自身もまだどのプログラムを専攻するか決めかねているが、おそらく多くの1年生はまだ自分の専攻プログラムを決定していないだろう。そんな私たちにとってこの朝企画は非常に有意義なものであった。

はじめに、クイズ形式による各プログラムの簡単な説明があった。私は文系出身であり、興味のある分野も文系の領域のものが多かったため、あまり理系的なプログラムのことは知らなかった。だから、すべてのプログラムについての話を聞いたことは良い経験となった。

それから、事前に行った希望調査による班に分かれて3つのプログラムの詳細について聞いた。私は受験する際に自分の希望プログラムについて調べていたが、先生から直接話を聞くことでより明確にプログラムの概要を知ることができ、さらにプログラム決定における有効な情報を得ることができた。

自分の進路について改めて考えることができる良い機会であった。これから1年間、教養を学びながらしっかりと自分の行く先を見据えていきたいと思う。

「別府 優里（べっちゃん）」

●打ち上げ

Tシャツ・バス企画なども含めた全体の結果発表があり、自分の班の結果に悲喜こもごもでした。また、総代・副総代・フェローからの挨拶と、次の総代・副総代・フェローの発表がありました。

僕

はこのオリキャン「打ち上げ」で不覚にも感動してしまいました。

2日間をかけて楽しみ、他の班と勝負したオリキャン。帰りのバスの中でしっかりと体力を回復させて、ついに結果発表のある「打ち上げ」に突入。我々が1班は昼企画、班丁とも成績がよろしくなくて、班員全員が「最下位」となることを覚悟していた。ちゃっかりみんなで「変顔」の練習をしていたくらいだ。そうは言っても、奇跡を信じていた僕は「最下位は……1班！」と言われた時には、ほんとにもう泣きそうでした。でも結果的に変顔撮影会は、苦しい、苦しい、だけいい思い出になりました。

話はガラリと変わり、僕は20のみなさんのオリキャンに対する思い入れに深く感動しました。フェロー交代の時、20フェローさんの話を聞きました。自分ら21を楽しませるために半年

も前から準備をしていたとか、毎晩遅くまで会議をしていたとか聞いて胸がいっぱいに……。

そして話を聞いて一番印象的だったのは、20のみなさんの結束力の強さでした。傍から見ても「仲間」と思えるような姿にうらやましくも思いました。

今年、僕ら21が感じたような気持ちを、また来年22が経験できるといいなと思います。

20のみなさんありがとうございました！

〔佐藤 好（らいく）〕

4

月19日の夕方、オリキャンも終わって、西食での打ち上げが始まりました。班ごとに机を囲んで座り、まずはオリキャン結果発表！うちの班ビリじゃないかなあ〜と、帰りのバスの中からずっとドキドキしてましたが、幸いビリのバツゲーム・変顔は免れました^^;そして優勝は7班!! おめでとうございました！

それから、各班の20のフェローさんや企画長さんたち、そして総代・副総代の先輩からの挨拶がありました。フェローの先輩たちの挨拶にはほんとに感動して、もらい泣きしそうでした。自分たち21を楽しませるために先輩たちが

凄じい努力をしてくれていたんだなあと改めて実感しました。

それと同時に、来年入ってくる22の皆を、自分たちと同じように思いっきり楽しませたい！と強く感じました。

その後、新総代・副総代、新フェローの発表があり、少し食事をしてから、西食の外で班のメンバーや他の友達と、オリキャンTシャツに寄せ書きし合いました。

出会ってたった2週間足らずで、先輩とも班員ともこんなに仲良くなれるなんて思ってもなかったです！あんなに楽しくて内容の濃い2日間は何初めてでした^^！楽しませてくれた先輩方、ほんと〜にありがとうございました！総科最高!!

〔須田 香苗（すっちー）〕

【担当】20生 山谷 義貴

21生 大江 輝幸・須田 香苗